



高齢者等新型コロナワクチン説明書



1 新型コロナウイルス感染症とは

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に感染することによって起こる感染症です。症状は発熱・のどの痛み・咳などが中心となります。高齢者や基礎疾患のある方などは重症化リスクが高くなるとされています。

2 新型コロナウイルス感染症の予防法

「換気」、「手洗い・手指消毒」などの基本的な感染対策が有効です。通院や高齢者施設を訪問する時などは、感染予防として「マスクの着用」が効果的です。また、普段から栄養バランスのとれた食事を心掛け、適度に体を動かすなど、体調を整えるようにしましょう。

3 予防接種の効果

ワクチン接種には、発症予防や重症化（入院）予防の効果があることが確認されています。なお、過去に感染したことがあっても再感染することもあります。また、ワクチン接種による追加の発症予防効果が得られることも確認されています。さらに、いずれの年齢においても、重症化（入院）予防効果は発症予防効果より高いことが確認されています。

4 予防接種の副反応

接種後に接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱等、様々な症状が確認されていますが、ほとんどが軽度から中等度で経過します。また、まれに重篤な副反応として、心筋炎や心膜炎、ショック、アナフィラキシー（いずれも頻度不明）があらわれることがあります。

副反応と思われる症状が現れたり、時間が経っても軽快しない場合は、医師に相談してください。

5 接種を受ける前に

（1）一般的注意

この説明を読んで、必要性や副反応について、分からないことがあれば、担当医や看護師に質問しましょう。十分に納得してから接種を受けてください。予診票は接種をする医師にとって、大切な情報です。責任を持って記入し、現在の健康状態を正しく伝えてください。

(2) 予防接種を受けることができない人

- ① 明らかに熱のある人（通常、体温が 37.5 度以上ある人）
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ③ ワクチンの成分に対してアナフィラキシーなど重度の過敏症※の既往歴のある人

※アナフィラキシーや、全身にひどいじんましんが出る、呼吸をするときゼーゼー、ヒューヒューと音がする、息が苦しい、脈が速くなる、血圧が下がっていく等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状です。

- ④ その他、医師が不適当な状態と判断した人

(3) 接種を受ける前に、医師とよく相談しなくてはならない人

- ① 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気などの基礎疾患を有する人
- ② 予防接種で接種後 2 日以内に発熱のみられた人及び全身に発疹等のアレルギーを疑う症状があらわれたことがある人
- ③ 今までにけいれんを起こしたことがある人
- ④ 免疫不全と診断されている人、又は先天性免疫不全症の家族がいる人
- ⑤ ワクチンの成分に対して、アレルギーが現れるおそれのある人
- ⑥ 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症又は凝固障害がある人

6 受けた後の一般的注意事項

- ① 予防接種を受けた後の 30 分間は、急な副反応が起きることがあります。医師とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- ② 副反応の多くは 24 時間以内に起こるので、体調に注意しましょう。また、接種後数日の間に胸痛、息切れ、ぐったりするなどの症状があった場合は、医療機関に受診してください。
- ③ 入浴はかまいませんが、注射部分を強くこすことはやめましょう。
- ④ 接種当日はいつも通りの生活をしてかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。

7 予防接種健康被害救済制度

予防接種では、健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。医療機関で治療を受けた場合や障害が残ってしまった場合に、予防接種法に基づく救済（医療費・医療手当・障害年金の給付など）が受けられる場合があります。ご不明な点は下記へお問い合わせください。

《お問い合わせ先》

瀬戸市健康課 電話 85-5065 Fax 85-5120

尾張旭市健康課 電話 55-6800 Fax 53-9488